（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	なごみの家：放課後等デイサービス

公表日　令和7年　12月19日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・国で定められているスペース確保されており、最高13名の利用時でも１人当たり5.3㎡ある。 ・長期休暇中は、会議室を開放し小グループでの活動や屋上を開放して過ごせるよう工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・管理者、常勤指導員1名、４時間パート３名常勤換算1.5人雇用している。児童発達支援管理責任者は常勤専任。常勤指導員は保育士資格所持。非常勤指導員のうち児童指導員3名で支援している。	・同性介助が出来る様な配置や児童の成長に体力が負けてしまう現状がある。 ・送迎運転人数の確保。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・スロープ、障がい者トイレの手すりを設置している。 ・車いす階段昇降設置	・扉の出入り口が狭い。 ・壁側がガラスで覆われている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		児童帰宅後に、時間をかけて清掃、消毒で清拭を行っている。個別対応の小活動室や屋上で走れる環境も整っている。	・屋上は雨天、冬季閉鎖。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別支援や構造化支援で使用している。 ・不穏時へのクールダウンの場ともなっている。	・自由に使用出きるため、他害に注意が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務の振り返りや日々の流れの見直しを毎月の会議で随時実行している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者へのアンケート結果や意見を真摯に受け止め、必要に応じて、検討、改善を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の朝会、ミーティング、で業務改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	未定	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人研修、外部研修へ参加している。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		今年度も4月にホームページへ公表。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者、相談でのモニタリング会議を行い、アセスメント評価を行って上、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ一同で普段よりミーティング等で共有し、中間・終了評価し、本児、家族の最善への利益で検討を行い計画作成を行う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		・個別支援計画はスタッフで共有して行っている。	・スキルが必要な際は、出来る所から設定。 ・個々の目標を再確認する必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		なごみの家、独自のアセスメントシートを使用。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		５領域の項目他、本人、家族、移行、地域支援を意識し支援内容に組み込んでいる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容は、ミーティングや会議で検討し必要に応じてその都度話し合い、一人ひとりに合わせたプログラムで行っている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々に合せ、マッチングした物や楽しくできる物を提案している。本児に合わない様なものは直ぐに改善し検討をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別の取り組みや集団での調理実習やイベントを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・全員集まったミーティングでの確認。 ・送迎時間で、ミーティング参加できない日は事前に共有する。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。		○	退勤時間が合わないため、翌日のミーティングで振替や共有を行っている。	・その日に解決が必要な件は、本日中に共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、担当児のチェックや評価、行動記録を行い、支援の改善へ繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的、又は必要に応じ変更を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		・自己選択の取り組み、四季に合わせた創作、地域交流、余暇での過ごし方を意識し組み立てている。 ・地域交流では、外出や外食へ計画。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		常に意識し、選択肢を広げている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者が、普段スタッフからの情報や行動記録を確認し、日々の様子を伺っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じ、発達支援センターの計画でケース会議に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		FAXやメール、緊急事項は電話で共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		主に相談事業所との情報共有である。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談へ報告している。	・今後も、児童の強みを増やし学校や福祉サービスへ情報できるように努めて行く。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		研修の情報を頂き参加している。また、法人内で講師を招いての実践やリモート等を継続している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・今後、交流の場を設けて行きます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・年2回の連絡調整会議参加	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お迎え時や連絡帳でのお知らせ、又、モニタリング会議でお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・今年度、自閉症eサービス研修を家族向けに実施。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、更新の際、説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画事前のモニタリングでの聞き取りや確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		本児も一緒にできる方は参加し目標確認やサインができるように行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要な際は、相談事業所と共有しケース会議を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は無いが、主たる事業所の文化祭「みつば祭」やクリスマス忘年会での交流の場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		直ぐに検討し、対応するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月の申し込みカレンダーや通信の発行でお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		これからも、意識し努めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		解りやすい内容や視覚支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		施設合同行事「みつば祭」のポスターを近隣周知を行った。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		周知していないものもある為、整備が必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・月に一度、地震・災害時の避難訓練を行っている。 ・クマ避難訓練を外出先で行った。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時での確認また、その都度薬を使用する際は、与薬依頼書に記載をお願いしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当児なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画作成し、法人内での研修や研修後の実践を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		都度、検討し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・組織の中で虐待防止委員会があり、研修や自己評価をし意識を高めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束虐待委員会で検討し、必要な方には計画書に記載し、身体拘束に関する同意書を貰い、解除する事を目標に鋭意検討で行っている。	